

新市建設計画構想案が答申されました

8月11日に開催された第11回任意合併協議会で、「新市建設計画構想案」が答申されました。

答申には、菴谷委員長はじめ茂木副委員長、各市町村の4委員が出席し、菴谷委員長から協議会長の三浦佐久市長へ構想案が手渡されました。

新市建設計画構想案策定委員会では、昨年10月に任意合併協議会より構想案の策定について諮問を受けて以来、計6回の委員会を開催し、合併により誕生する10万都市のまちづくりについて協議を重ねてきました。

答申された新市建設計画構想案では、まちづくりの基本的な考え方として、それぞれの豊かな個性を持つ4つの市町村が合併により新市となるにあたり、それぞれの個性を尊重しながら新たなまちづくりを進めることとしています。

そして、「まちの絆」や「ひとの絆」により、新市の一体性の確保と均衡ある発展を目指すこととしています。

答申を受けた三浦協議会長は、構想案に描かれた10万都市の将来像が一日も早く実現できるとの努力をたいといさつしました。



第11回任意合併協議会で三浦協議会長に答申する菴谷委員長（中央）

新市建設計画構想

構想の内容

新市建設計画構想は、佐久市・臼田町・浅科村・御代田町の1市2町1村が合併し誕生する10万都市が、速やかに一体性を確立し、将来に向けて大きく発展していくため、まちづくりの基本理念や新市の将来像、これを実現するための取り組みの方向やプロジェクト、主要事業などを示したものです。

構想の期間

おおむね平成37(2025)年を目標(約20年後)

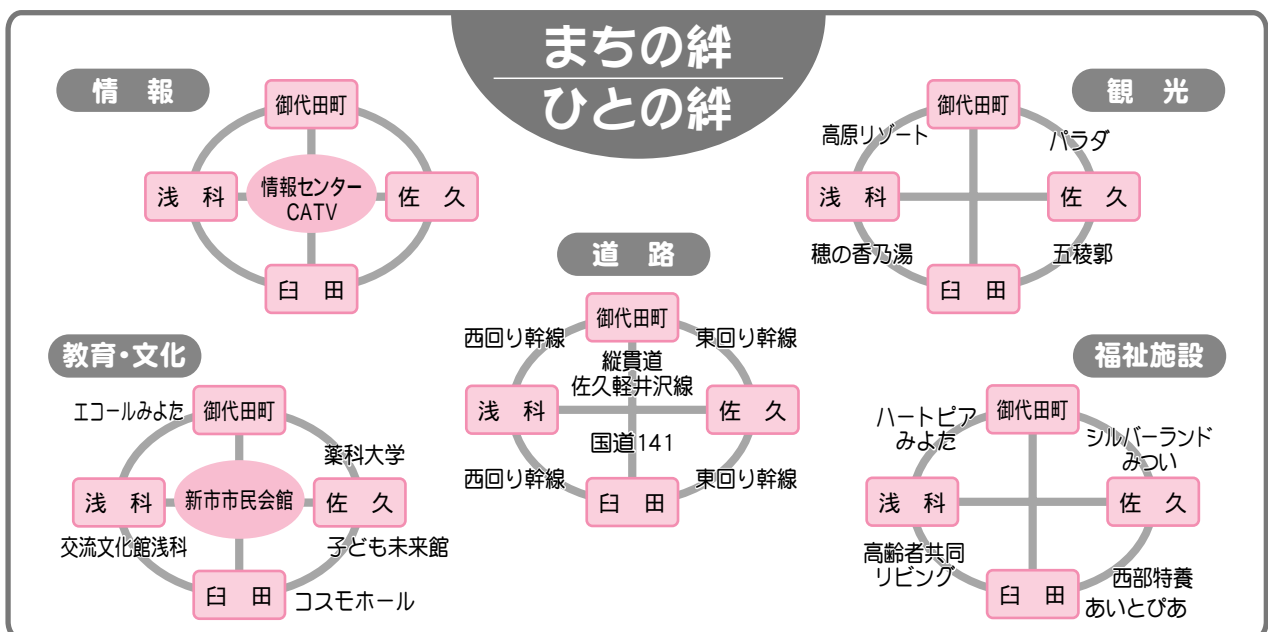
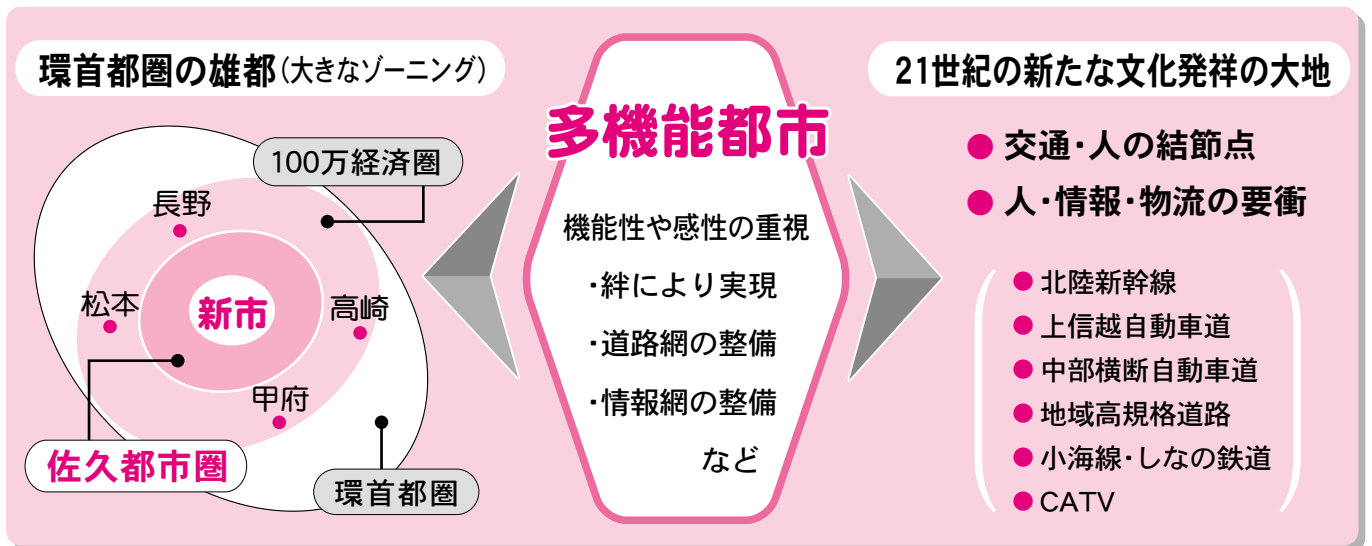
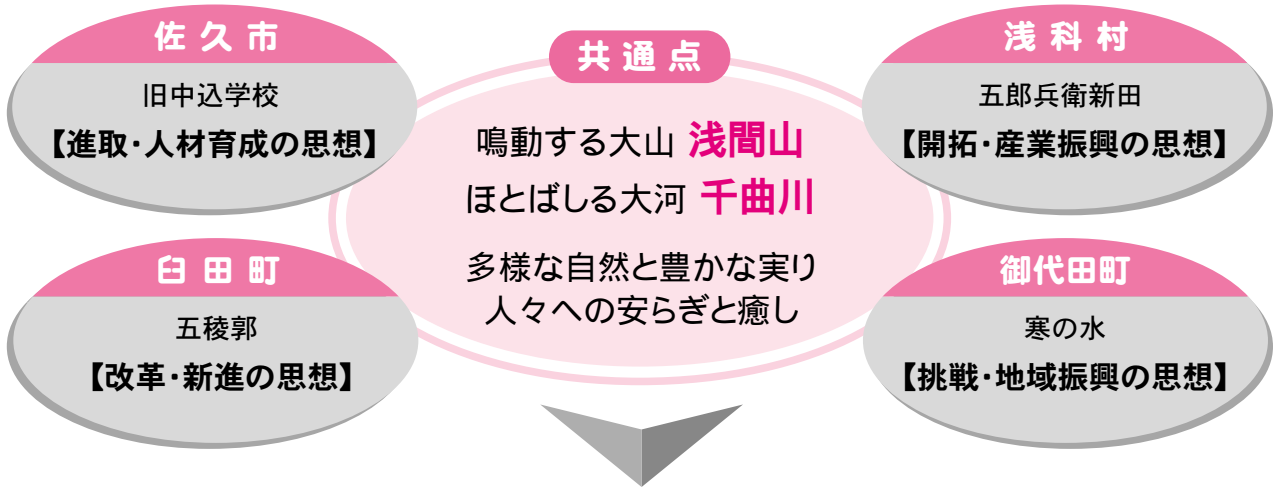
「基本目標と主要プロジェクト」における主要事業の投資計画は、構想の前期10年を見通したものです。

将来推計人口

110,000人[平成37(2025)年]

新市建設の基本理念

21世紀の新たな文化発祥の大地



新市の将来像

佐久の地に悠久の歴史を共有してきた私たちは、新市建設にあたり激変期の社会に凜として臨み、住民一人ひとりが先人の培ってきた叡智とほとばしる情熱を受け継ぎ、たくましさ^{えいぢ}と優しさを併せ持ち、様々な人々・地域・産業を通じたまちづくりをめざすために、新市の将来像を次のように定めます。

叡智^{えいぢ}と情熱が結ぶ、21世紀の新たな文化発祥都市

【一人ひとりのための温かみと豊かさのある生活空間】

10万都市、
100万経済圏、
1000万交流圏
の拠点

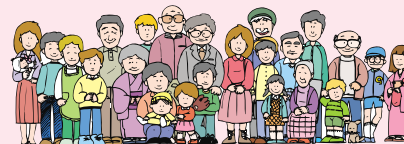
新市は単なる地域の結合でなく、一つの拠点性を持つ10万都市とし、新市が持つ地理・交通の優位性を活かす100万経済圏の産業拠点をめざします。また、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進し、未来につなげる躍動感溢れるまちづくりを進めます。

浅間山を始めとする山々と、千曲川や田園に代表される「佐久の原風景」を保全・継承するため、計画的な景観形成や緑化推進等によって地域の開発との調和を図ります。また、自然との共生を図り、限りある資源を有効に活用する資源循環型社会を形成することにより、環境にやさしいまちづくりを進めます。

水と太陽と
緑がありなす
诗情あふれる
まち

温かみと
豊かさのある
生活空間

子どもや若者から高齢者まで、一人ひとりが家庭や社会において自身の役割を見出すことによって、生きがい・やりがい・助け合いのある、健やかに笑顔あふれるまちづくりを進めます。



佐久の風土と培われてきた伝統・文化を継承するとともに、地域コミュニティから国際交流まで様々な連携・交流を図り、新たな文化の創造をめざします。

また、高等教育機関や学習施設の整備、ネットワーク化など教育の充実を図り、次代を担い、郷土を担う人材の育成を進めます。

伝統と創造の
文化のまち

皆様のご意見を
お寄せください

佐久市・臼田町・浅科村・御代田町
任意合併協議会事務局（佐久市役所3F）

〒385 - 8501 長野県佐久市大字中込3056

TEL 0267 - 62 - 2111 (内線366) / FAX 0267 - 62 - 7862

Eメール gappei@city.saku.nagano.jp

ホームページアドレス <http://www.city.saku.nagano.jp/gappei/index.htm>